

謡曲「桜川」などを上演

「桜川能」

3月9日(土)、桜川市伝統芸能の会(石川 稔代表) 主催による『桜川能』が、満席の大和ふれあいセンター「シトラス」で開催され、伝統芸能である「能」と「狂言」が上演されました。

この公演は、文化庁の「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」として実施されました。

当日、上演された『能』は、世阿弥ゆかりの地である本市の磯部地区や桜川が舞台となつて、室町時代に作られた謡曲「桜川」。本格的な伝統芸能を鑑賞した満員の観客は、一時の幽玄の世界を堪能しました。



満員の観客の前で上演された世阿弥作の謡曲「桜川」



石川教育長から笠倉義貞さん(写真左から2番目)に表彰状などが手渡されました。

笠倉義貞さんが

地域文化功労者表彰

市内大曾根地区で「加波山囃子」の後継者育成を目的に、小・中学生への伝承活動を長きにわたり続けている、同囃子保存会顧問の笠倉義貞さんに地域文化功労者表彰が贈られました。

この表彰は、公益財団法人 伝統文化活性化国民協会が、多年にわたり伝統文化の活性化に尽力するなど地域文化の振興に貢献した個人や団体を対象に毎年表彰を行っているものです。

同氏は「子どもたちが一生懸命やってくれたからこそその受賞です。子供たちに感謝します。」と話していました。

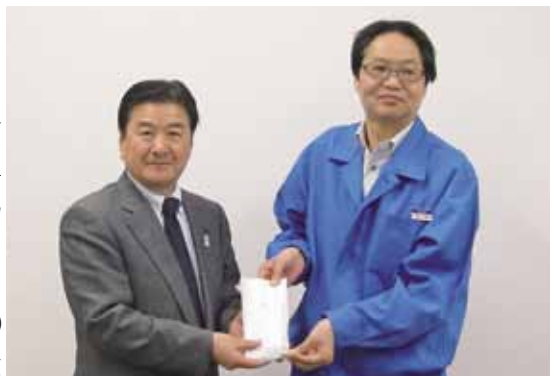
TOTOWOシュレット

テクノ(株)茨城工場から寄付

TOTOWOウオシュレットテクノ(株)茨城工場(西小埜地区)から、市の社会福祉事業のために寄付をいただきました。

これは、同社で実施している「TOTOWO夏まつり」で行われた日用雑貨品のバザーの売上金や、「市民祭inいわせ」などでチャリティー工作を実施した際の収益金を寄付していただきました。

同社は「地域の方々との交流を深めるためにも、これからもイベントを行い、お世話になつている地域の皆様へ感謝の気持ちを伝えるとともに、併せて市への寄付も行つていければ。」と話していました。



TOTOWOウオシュレットテクノ(株)茨城工場長の田尻三幸さん(写真右)から中田市長に寄付金が手渡されました。



茨城県小学生バレーボール新人大会女子の部で優勝した、羽黒バレーボールスポーツ少年団の皆さん

羽黒バレーボールスポ少

県新人大会(女子の部)で優勝

石岡市で開催された「平成24年度茨城県小学生バレーボール新人大会(女子の部)」で、羽黒バレーボールスポーツ少年団が、見事優勝しました。

本大会は、5年生以下の新チームの大会で、県内4支部から勝ち進んだ32チームの間で、3セットマッチトーナメント戦で行われ、同チームは決勝戦で、古河市の「大和田」と対戦。序盤に苦戦したものの、見事に逆転優勝しました。大塚絵理キャプテンは「みんなで頑張つて練習した結果です。次は、夏の大会で全国大会を目指して頑張ります。」と話していました。